
「東南アジアのキターブ比較研究」

2015 年度第 1 回研究会

日時：2015 年 7 月 11 日（土）13 時半～18 時

会場：上智大学四谷キャンパス 2 号館 6 階 615A 会議室

（東京、JR・地下鉄四ツ谷駅より徒歩 5 分）

<プログラム>

司会：新井和広（慶應義塾大学）

報告

1) 菅原由美（大阪大学）「近現代東南アジアにおけるイスラ・ミッターージュ物語の変容—パターニー版を中心に—」

2) 茂木明石（上智大学アジア文化研究所客員研究員）「アフマド・ダルディールとイスラ・ミッターージュ物語」

3) 川島緑（上智大学）「南部フィリピン、ラナオ地方における『来世の報せ』（Khabarol akhirat）の来歴と変容に関する予備的研究 —1930-70 年代を中心に—」

討論者：青山亨（東京外国語大学）

<趣旨>

イスラーム世界と連動しつつ、地域固有の文脈で展開されるイスラームのダイナミズムを、民衆的イスラーム物語の変容を通じてとらえることを目的とし、イスラーム物語の広域比較研究を行います。

連絡先：NIHU イスラーム地域研究上智大学拠点事務局 ias-iac@sophia.ac.jp